

## 現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市西部斎場葬祭棟他冷暖房設備改修工事

### 1. 現場の状況

工事場所は、福山市西部斎場の葬祭棟と待合棟です。工事期間中も、通常どおり施設の利用があります。

### 2. 留意事項

- ① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- ② 本工事は建設リサイクル法に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）の計画書・実施書を提出してください。
- ③ 現場代理人及び主任技術者については、契約約款・建設業法等に違反とならないよう適切に配置し、当該工事の施工管理を行ってください。
- ④ 工事期間中は施設利用者・職員及び第三者の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じてください。
- ⑤ 工事で既存工作物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- ⑥ 施設管理者と日程調整を密接に行なってください。
- ⑦ 工程表は契約後14日以内に提出してください。その際、作業工程については監督員及び施設管理者と十分に協議調整の上、作成してください。また、施行計画書等は速やかに提出してください。
- ⑧ 工事の施工上、官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑨ 別途関連工事業者との調整を行い、円滑な工事の遂行に努めてください。
- ⑩ 現場作業は葬祭棟を優先してください。


### 3. 別途関連工事

電気設備工事

# 福山市西部斎場葬祭棟他冷暖房設備改修工事

図面リスト		
図番	図面名称	縮尺
1/5	特記仕様書No.1	N.S.
2/5	特記仕様書No.2	N.S.
3/5	2階平面図	1:200
4/5	(葬祭棟) 機械室平面詳細図・系統図	N.S. 1:50
5/5	(待合棟) 機械室平面詳細図・系統図	N.S. 1:50

## 福山市建設局建築部設備課

 福山市建設局建築部設備課					
主務	係員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長



排水設備	1 管 (第1棟まで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP)</li> <li>排水用鉛管 (SHASE-S203)</li> <li>コーティング鋼管</li> <li>耐火二層管</li> <li>配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP</li> </ul>
	2 通気管	<ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP</li> <li>硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP)</li> <li>耐火二層管</li> </ul>
	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。
	4 ビット内配管保温	・ 施工する
	5 方式 (屋外)	・ 自然排水
	6 管	・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (VP ※ VU)
	7 インバート斜	・ SA, AB形
	8 インバート斜用蓋	・ 塩ビ製
	9 排水斜	・ RA, RB形
	10 排水斜用蓋	・ 塩ビ製
	11 埋設深さ	・ 300m/m以上 (車両道路以外)
	12 その他	・ 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。
給湯設備	1 方式	・ 単管式
	2 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋼管 (JIS H 3300) (Mタイプ)</li> <li>被覆鋼管 (呼び径20までとする)</li> <li>水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW</li> <li>保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に断熱材(14mm以上)で被覆したもの)</li> <li>一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304</li> <li>架橋ポリエチレン管</li> <li>ポリブテン管</li> </ul>
	3 弁	・ JIS 10K
	4 熱源	・ ガイラー
	5 膨張水槽	・ 電気温水器
	6 その他	・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。
消火設備	1 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW</li> <li>圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG</li> <li>配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP</li> <li>消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS</li> </ul>
	2 弁	・ JIS 10K
	3 消火栓箱	・ 総合形 (HB-1A・HB-1B)
	4 水源用水槽	・ ステンレス製
	5 消火ポンプユニット	・ 認定型
	6 ポンプ基礎	・ 標準基礎
	7 消火器	・ ( )型
	8 保温	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼水タンクの保温</li> <li>充水タンクの保温</li> <li>消火配管の保温は次による。</li> </ul>
	9 その他	水圧試験及び消防設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。
浄化槽設備	1 処理種別	・ 小規模合併処理
	2 構造	・ 分離接触ばっ気方式
	3 形式・容量	・ ユニット型
	4 排水方式	・ 自然排水
	5 マンホール	・ MHA型
	6 その他	工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。

空調設備	① 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条件</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.2 °C</td> <td>49.5 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>45.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.0 °C</td> <td>69.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>(建築設備設計基準令和6年版) ※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>	条件	屋外		屋内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	35.2 °C	49.5 %	28.0 °C	45.0 %	冬季	0.0 °C	69.5 %	19.0 °C	40.0 %
	条件	屋外		屋内																	
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																
	夏季	35.2 °C	49.5 %	28.0 °C	45.0 %																
	冬季	0.0 °C	69.5 %	19.0 °C	40.0 %																
	2 冷水・温水・冷却水	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW</li> <li>配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP</li> <li>一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304</li> <li>配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP</li> <li>断熱材被覆鋼管 (JCDA0009)</li> <li>冷媒管の保温外装</li> </ul>																			
	3 蒸気・油管及び冷媒管	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内露出</li> <li>屋内外露出</li> <li>屋外保温化粧ケースの材質</li> </ul>																			
	4 ブライン管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP																			
	5 給水及び排水管	給、排水設備の項による。																			
	6 ファンコイルユニット及びパッケージエアコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>円形型</li> <li>天吊形</li> <li>露出</li> <li>隠蔽形</li> <li>カセット形</li> </ul>																			
	7 フレキシブルジョイント	・ ステンレス製ベローズ形																			
	8 吹出口・吸込口	・ 枠及びスリットの材質は																			
9 防塵・防火ダンパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>防塵ダンパー (SD)</li> <li>防火ダンパー (FD)</li> <li>防塵防火ダンパー (SFD)</li> <li>防塵ダンパーは</li> <li>ダンパー復帰機構は</li> <li>グラスウールダクト (円形ダクト)</li> </ul>																				
10 風道	<ul style="list-style-type: none"> <li>亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙)</li> <li>重鉛鉄板製 (空調、換気、排煙)</li> <li>長方形ダクトは</li> </ul>																				
11 冷水水管の空気抜	消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内寸法とする。																				
自動制御設備	① 中央監視制御装置	・ 有り (構成機能図は図示による)																			
	2 電源装置	・ 要																			
	3 計装工事の記録	屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。																			

石綿含有設備資材の処理について

I. 石綿含有する設備資材の撤去方法

- 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。
- 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承認を受ける。
  - ダクトフランジ部
    - ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。
    - ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を行う。
    - ダクトの切断は、フランジ部分の高さ約100mmの箇所において慎重に行う。
    - ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。
  - たわみ継手フランジ部
    - たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。
    - ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を行う。
    - ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の高さ約100mmの箇所において慎重に行う。
    - ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。
  - 配管フランジ部
    - 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。
    - 配管の切断は、フランジ部分にからぬ箇所において行う。
  - 成形保温材付配管の曲線部
    - 成形保温材付配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。
    - 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。
    - ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密封する。
    - 配管の切断は、密封部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。

II. 石綿含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途)

- 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承認を受ける。
- 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき撤去要領図と協議する。
- 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書提出する。
- 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。

ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S-NS

成形保温材付配管撤去要領図 S-NS

附近見取図 N.S.

工事場所  
福山市金江町葉江字茶臼山7604番地2

全体図 1:200

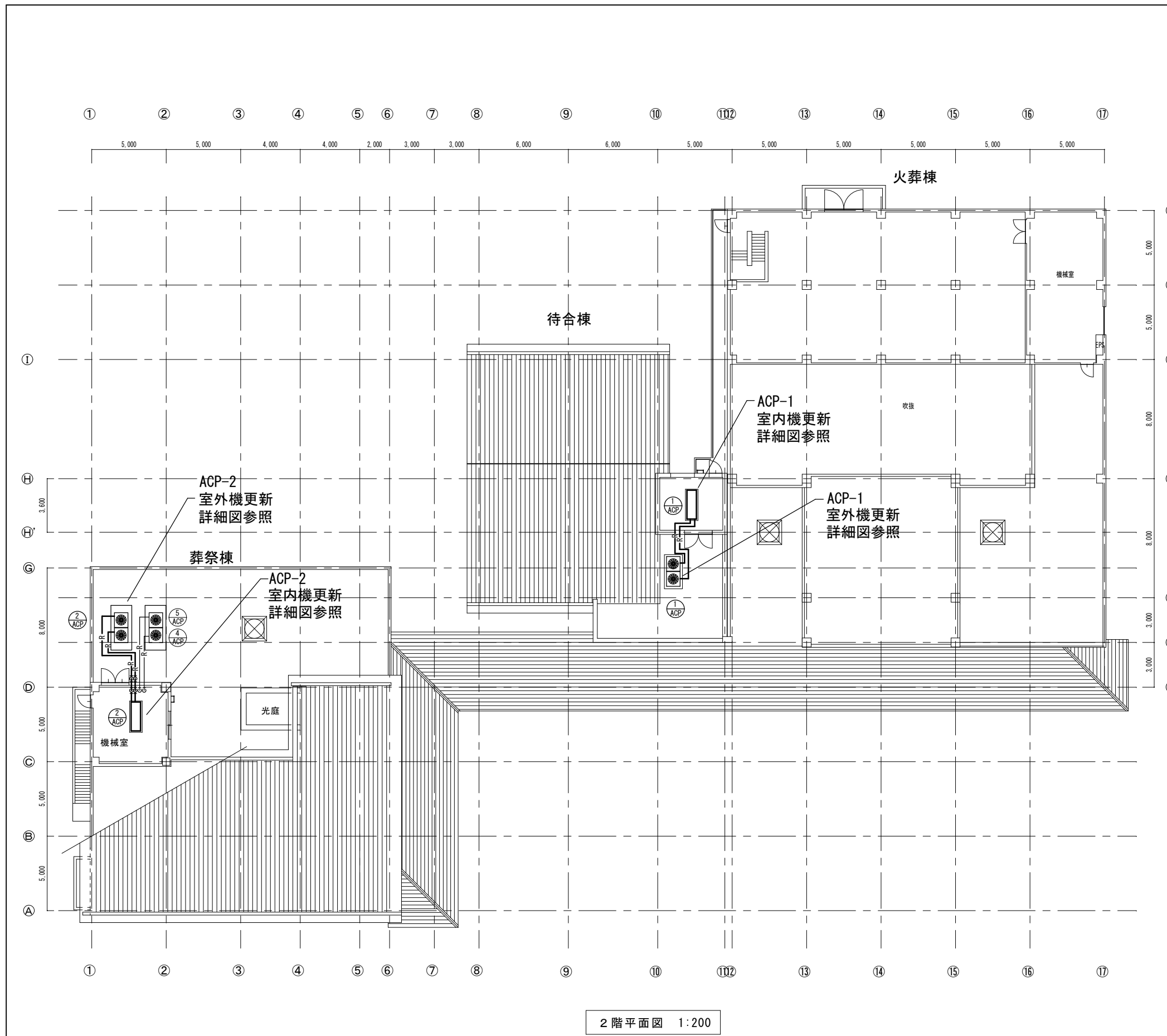
福山市西部斎場葬祭棟冷暖房設備改修工事

機械設備工事特記仕様書 No. 2

2026年 4月

福山市建設局建築部設備課

2/5



2階平面図 1:200

既設

機器記号	機器タイプ	能力	電源	数量	設置場所
ACP-1	パッケージエアコン 床置ダクト形 既設型式 室内機：PAH-J560DG 室外機：PVH-J280G 2台	定格冷房能力 50.0kW 定格暖房能力 56.0kW 風量 8950m <sup>3</sup> /h 冷媒 R22	3φ-200V 圧縮機(室内機) 7.5kW×2 送風機(室内機) 3.7kW 送風機(室外機) 0.23kW×2	1	待合棟機械室
ACP-2	パッケージエアコン 床置ダクト形 既設型式 室内機：PAH-J560DG 室外機：PVH-J280G 2台	定格冷房能力 50.0kW 定格暖房能力 56.0kW 風量 8950m <sup>3</sup> /h 冷媒 R22	3φ-200V 圧縮機(室内機) 7.5kW×2 送風機(室内機) 3.7kW 送風機(室外機) 0.23kW×2 補助ヒーター 3.0kW	1	葬祭棟機械室

新設

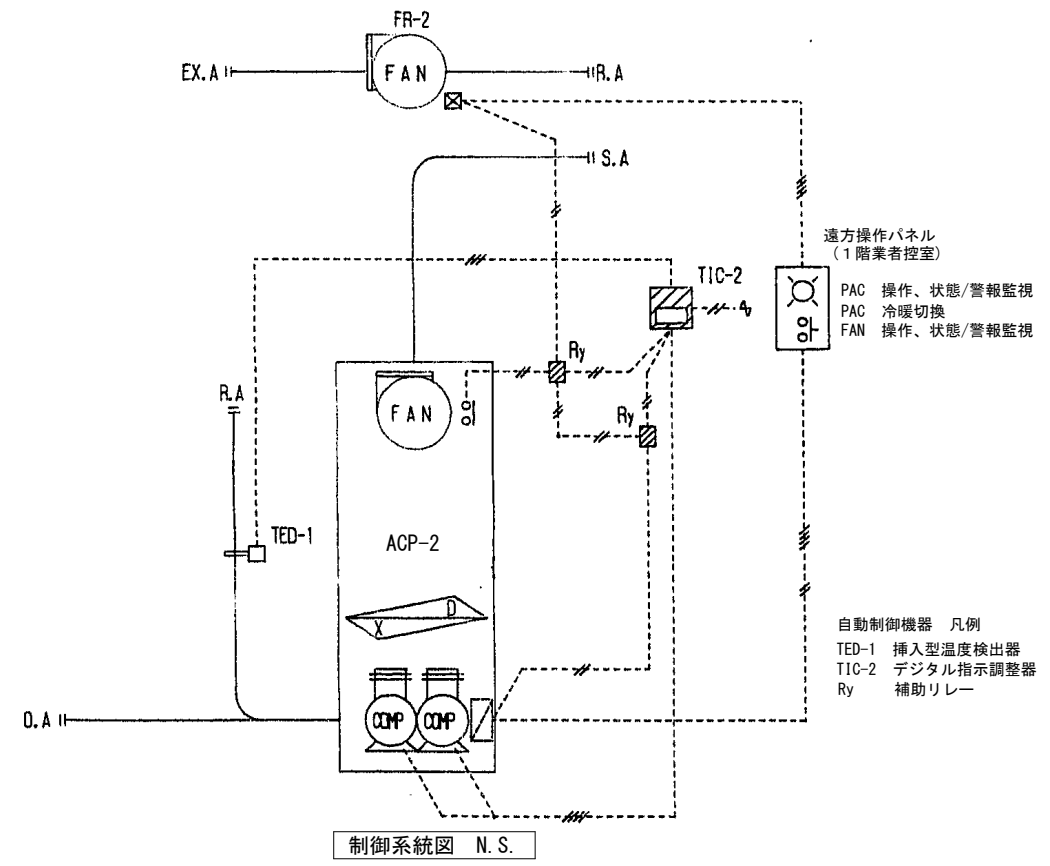
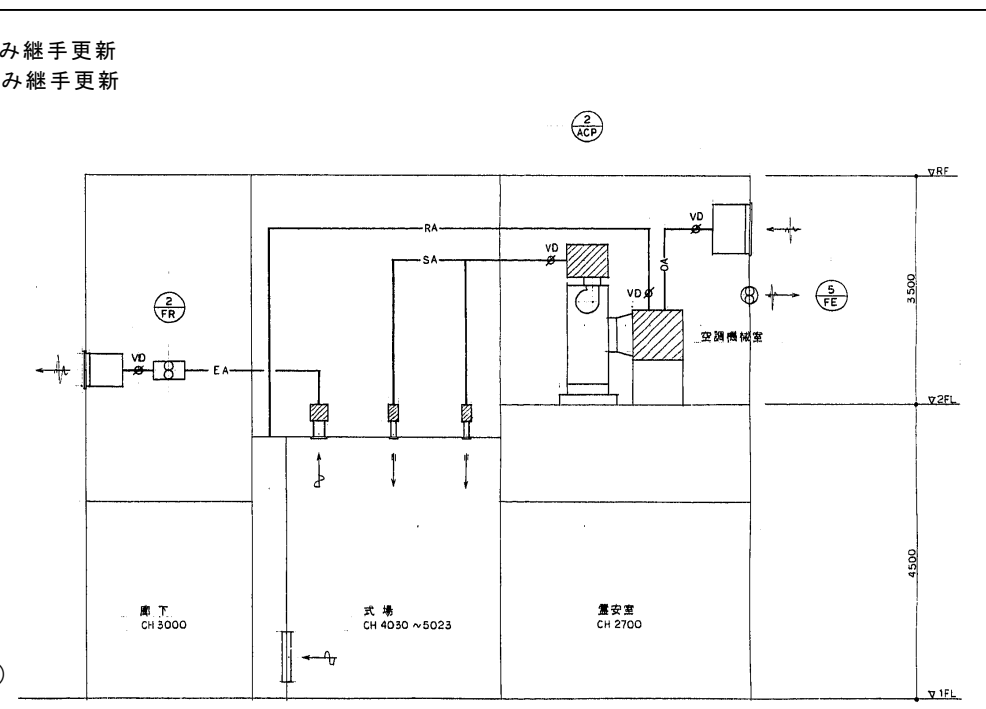
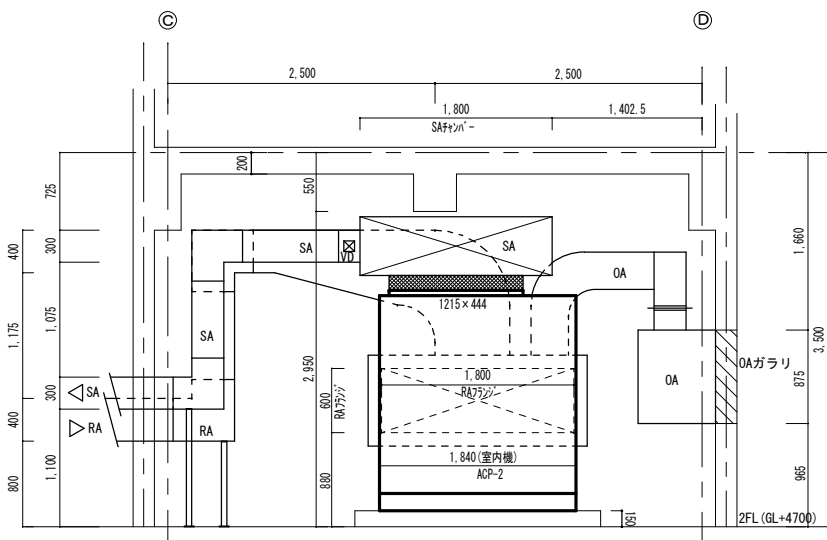
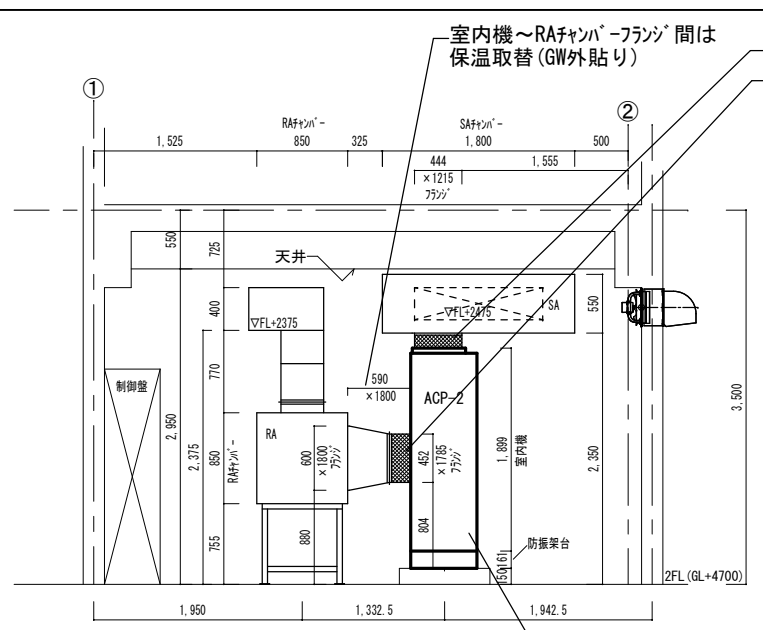
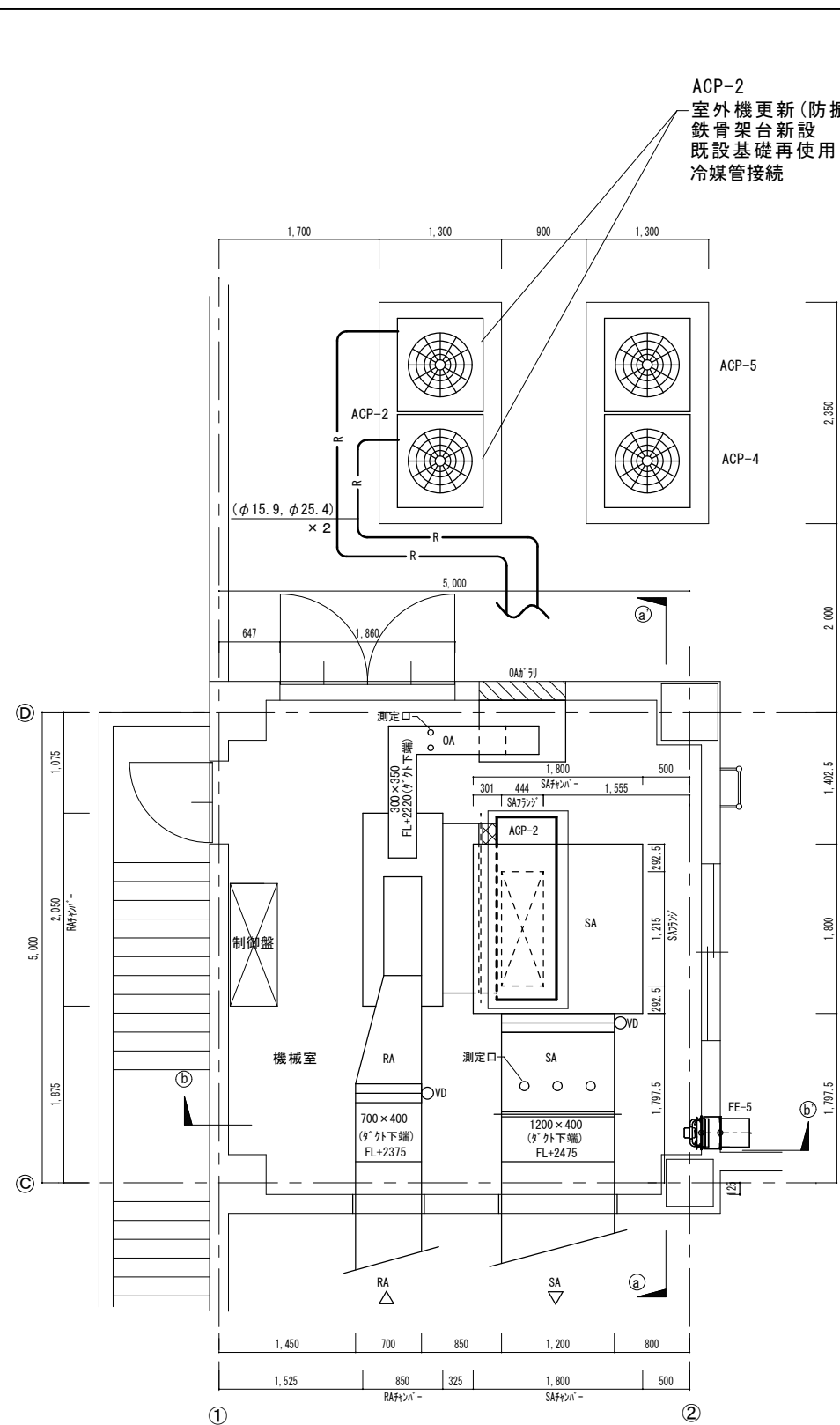
機器記号	機器タイプ	能力	電源	数量	設置場所
ACP-1	パッケージエアコン 床置ダクト形	定格冷房能力 50.0kW 定格暖房能力 56.0kW 風量 9900m <sup>3</sup> /h 付属品 吹出ダクト相フランジ 吸込ダクト相フランジ 遠方表示キット 冷媒 R410	3φ-200V 圧縮機(室外機) 5.87kW×2 送風機(室内機) 1.2kW×2 送風機(室外機) 0.46kW×2	1	待合棟機械室
ACP-2	パッケージエアコン 床置ダクト形	定格冷房能力 50.0kW 定格暖房能力 56.0kW 風量 9900m <sup>3</sup> /h 付属品 吹出ダクト相フランジ 吸込ダクト相フランジ 遠方表示キット 補助ヒーター 冷媒 R410	3φ-200V 圧縮機(室外機) 5.87kW×2 送風機(室内機) 1.2kW×2 送風機(室外機) 0.46kW×2 3.0kW	1	葬祭棟機械室

注) 既設は室内機電源、新設は室外機電源

特記事項

- 冷媒管及び内外渡り線、リモコン線、自動制御機器信号線は既設再使用とする。エアコンの一次側配線接続は別途電気工事とする
- 工事に伴う配管及び保温の改修、二次側配線接続リモコン取替・配線工事は本工事とする。(機器の配置、接続位置変更に伴う改修も含む)
- 工事に伴う既設機器撤去・処分は本工事とする。
- 撤去に伴う先立ち石綿事前調査を行う。
- 電気工事士法等関係法令を遵守する。
- あと施工アンカーは十分な経験と技能を有する技術者が行う。
- 既設エアコンのフロンガスはフロン排出抑制法に則り適正に処理し、行程管理票、破壊処理証明書を提出する。
- 機器搬重作業時は安全対策を講じる。
- 作業日については、事前に施設管理者と協議する。
- 室内を汚さない様、養生を適切に行う。
- 工事完了後、機器台帳を作成し提出する。(改正フロン法対応)
- 自動制御機器と冷暖房機器の調整は本工事とする。

工事名	福山市西部斎場葬祭棟他冷暖房設備改修工事				福山市建設局建築部設備課				図面NO. 3		
	図面名称	2階平面図	縮尺	1:200	2026年	4月	主務	課員		第1担当次長	第2担当次長
5											



工事名		福山市西部斎場葬祭棟他冷暖房設備改修工事			福山市建設局建築部設備課				図面NO.		
図面名称		機械室平面詳細図	縮尺 1:50	2026年 4月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	4
		系統図	N.S.								5



# 参考数量書

§ 工事名称 福山市西部斎場葬祭棟他冷暖房設備改修工事

§ 工事場所 福山市金江町藁江字茶臼山7604番地2

## 特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「公共建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

# 設 計 書

工事名称 福山市西部斎場葬祭棟他冷暖房設備改修工事

工事場所 福山市金江町藁江字茶臼山7604番地2

## 【工事概要】

- ・冷暖房設備工事 ~ 一式  
葬祭棟、待合棟
- 別途工事
- ・電気設備工事 ~ 一式











機械設備工事		( 葬 祭 棟 ) 冷 暖 房 設 備		冷 暖 房 設 備 工 事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設備用エアコン (室外機)	冷房：25.0kW 暖房：28.0kW 標準型 防振架台含む	2	台			
ACP2設備用エアコン (室内機)	冷房：50.0kW 暖房：56.0kW 床置ダクト型 防振架台・付属器含む 補助ヒーター有	1	組			
ハッチェン形空気調 和機(セレクトマルチ) 据付	屋外機 床置き 防振基礎有り 25.0kW以下	2	台			
ハッチェン形空気調 和機(直吹き・ダクト 接続)据付	屋内機 床置き 防振基礎有り 50.0kW以下	1	台			
室外機鉄骨架台		1	か所			
ダクト用たわみ継手		2	m			
あと施工アンカー	本体打込み式 M16 下向打	12	本			
冷媒管	15.9 25.4	6	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 25A	1	m			
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 スチール鋼板 125A	6	m			
RAダクト保温新設		2.8	m <sup>2</sup>			
既設ダクト接続費		2	か所			
配管接続費	15.9, 25.4	4	か所			
ドレン配管接続費		1	か所			
電動機結線		3	台			
搬入費 (揚重機除く)	複数搬入 300kg/m3未満	0.6	t			
搬入費 (揚重機除く)	複数搬入 100kg/m3未満	0.2	t			
ラフレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	25t吊り おレット付き 賃料 標準	1	日			
計						

機械設備工事		( 葬祭棟 ) 冷暖房設備		撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気熱源パナソニック (圧縮機屋外形) パナソニック 撤去	屋外機 床置き 防振基礎無し 25.0kW以下 再利用しない	2	台			
空気熱源パナソニック (圧縮機屋外形) パナソニック 撤去	屋内機 床置 50.0kW以下 再利用しない	1	台			
冷媒管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 125A 再使用しない	6	m			
長方形グラスウール 撤去	ロックウール・グラスウール 機械室,書庫,倉庫 アルミグラスウール 保温厚25 再使用しない	2.8	m <sup>2</sup>			
たわみ継手撤去		2	か所			
冷媒管撤去	15.9, 25.4	6	m			
搬出基準単価 (揚重機除く)		1	t			
ラフレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	25t吊り おもて付き 賃料 標準	1	日			
冷媒フロン回収処 理費 28.0kw	冷却能力 60hz 28.0kw	1	式			
冷媒フロン回収処 理費 28.0kw	冷却能力 60hz 28.0kw	1	式			
発生材運搬費		1	t			
発生材処分費	特定建設資材以外	1	t			
計						

機械設備工事		(待合棟)冷暖房設備		冷暖房設備工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設備用エアコン (室外機)	冷房：25.0kW 暖房：28.0kW 標準型 防振架台含む	2	台			
ACP1設備用エアコン (室内機)	冷房：50.0kW 暖房：56.0kW 床置ダクト型 防振架台・付属器含む 補助ヒータ無	1	組			
ハッチェン形空気調 和機(セレクトマルチ) 据付	屋外機 床置き 防振基礎有り 25.0kW以下	2	台			
ハッチェン形空気調 和機(直吹き・ダクト 接続)据付	屋内機 床置き 防振基礎有り 50.0kW以下	1	台			
室外機鉄骨架台		1	か所			
ダクト用たわみ継手		2	m			
あと施工アッカー	本体打込み式 M16 下向打	12	本			
冷媒管	15.9 25.4	6	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 25A	1	m			
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 スチール鋼板 125A	6	m			
RAダクト保温新設		2.8	m <sup>2</sup>			
既設ダクト接続費		2	か所			
配管接続費	15.9, 25.4	4	か所			
ドレン配管接続費		1	か所			
電動機結線		3	台			
搬出費 (揚重機除く)	複数搬出 200kg/m3未満	0.7	t			
ラフレックレーン運転 (油圧伸縮シブ型)	25t吊り おレタ付き 賃料 標準	1	日			
計						

機械設備工事		(待合棟)冷暖房設備		撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気熱源パナソニック (圧縮機屋外形) パナソニック 撤去	屋外機 床置き 防振基礎無し 25.0kW以下 再利用しない	2	台			
空気熱源パナソニック (圧縮機屋外形) パナソニック 撤去	屋内機 床置 50.0kW以下 再利用しない	1	台			
冷媒管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 125A 再使用しない	6	m			
長方形グラスウール保温 撤去	ロックウール・グラスウール 機械室,書庫,倉庫 アルミグラスウール 保温厚25 再使用しない	2.8	m <sup>2</sup>			
たわみ継手撤去		2	か所			
冷媒管撤去	15.9, 25.4	6	m			
搬出基準単価 (揚重機除く)		1	t			
ラフレソクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	25t吊り トラック付き 賃料 標準	1	日			
冷媒フロン回収処 理費 28.0kw	冷却能力 60hz 28.0kw	1	式			
冷媒フロン回収処 理費 28.0kw	冷却能力 60hz 28.0kw	1	式			
発生材運搬費		1	t			
発生材処分費	特定建設資材以外	1	t			
計						

